

## これまでの市長の 市政運営を問う

平成自民クラブ  
八木 浩



**問（議員）** 平成27年1月の市長就任以来、2期目の任期も残すところ4か月余りとなる。市長は自身の公約実現への進捗状況を踏まえたこれまでの市政運営について、どのように評価しているか。また市制施行50周年を迎えるに当たり、今後の50年に向け、引き継ぐべき課題をどのように考えているか。

**答（市側）** 1期目の市政で、皆さんとの対話に基づき積み上げた様々な施策をより具体的に見える形で進めたい思いから、2期目の市政テーマを計画から実行へ、考えるから行動へとし、市民と約束した事項は、概ね前に進めることができたと考えている。今後の課題として、少子高齢化への対応や脱炭素社会に向けた取組強化、デジタル技術を活用した行政運営、阪急長岡天神駅の周辺まちづくりなどがあるが、成熟したまちとして、徹底的に暮らしやすいまちを目指すことが、次の50年の歩むべき道と考える。



一  
般

質

問

9月定例会では、13名の議員が行政全般について、市長などの執行機関に対し、さまざまな角度から質問しました。

ここでは、その質問の一部を掲載します。

## 学校での公共交通に 対する学習機会を

輝（かがやき）  
大伴 壘



**問（議員）** バスの乗り方や電車の切符の買い方、改札の仕組みが分からない子どもが昔より多いように感じる。子どもの頃から公共交通に慣れ親しみ、抵抗なく利用できることが、マイカー依存型から公共交通への利用転換への第一歩になると考える。学校や企業などと連携し、公共交通に対する交通学習を取り入れるなど、子どもの社会性の向上や地域公共交通の大切さを学ぶ機会を設けてはどうか。

**答（市側）** 公共交通を守るためには、子どもの頃から日常的に利用してもらうことで、公共交通の持続可能性を高めることが重要である。そのため学校での交通学習機会の確保について、交通事業者や教育委員会などと協議をしていきたい。また、小・中学生向けのバスの啓発チラシを作成・配布し、バスの大切さや必要性を理解してもらうとともに、児童・生徒のバス利用の促進策を検討していきたい。

一般質問ってなに？

一般質問とは、本市の**行政事務全般**について、議員が疑問に思ったことなどを質問することです。

議案とは何ら関係なく、**自由に質問できる**ことが特徴です。

ぜひ、傍聴にもお越しください。



## 中小企業が環境問題に取り組める施策を

日本共産党  
広垣 栄治



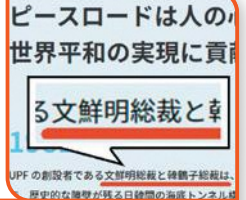
**問（議員）** 環境問題の取り組みは、各種環境関連法の成立により、全ての企業が取り組むべき課題へと変化し、中小企業にも重要な課題となっている。環境対策の効果は、短期的には収益に結びつかない場合が多く、中小企業は環境問題への継続的な取り組みに受け身である。そのため、事業者が積極的に環境問題に取り組める施策が必要と考えるがどうか。

**答（市側）** 事業者の環境への取り組みを支援するため、市ホームページや商工会を通じて、国や京都府が実施する事業者向け環境施策や、太陽光パネル設置の初期投資ゼロモデルの案内などの周知啓発を行っている。また、本市が実施するCOOL CHOICE実践補助金や長岡京市小規模事業者等省工対策緊急支援金などを通じた取り組みの支援も行っている。今後、中小企業が再エネ・省エネに取り組めるよう努めていきたい。

その他の一般質問 国葬について

## 市への面会団体などに対する対応は

日本共産党  
小原 明大



**問（議員）** 報道では、令和3年8月に市長などが面会した団体が、旧統一教会系の関連団体であり、担当部署も、旧統一教会系の団体とは認識をしていなかったと聞く。市としては、今後も市民と様々な場面で協働することになるが、旧統一教会やその関連団体に対し、今後どのような態度で対応するのか。

**答（市側）** 旧統一教会系の関連団体への面会については、当該団体より表敬訪問についての打診が担当課にあり、一定の調査をした結果訪問を受けたが、旧統一教会系の団体であることは、一連の報道で初めて認識した。今後、旧統一教会系の団体とは関係を持つことはなく、合わせて、可能な限り団体の調査を行い、社会的に問題のある団体とは、面会も含め関係を持たないよう努めたい。一方で、多くの人と直接会って、話を伺うことは大切であり、必要以上に門戸を閉ざさないよう留意していきたい。

その他の一般質問 長岡天神駅周辺整備と本市の将来像について

## ヤングケアラーの正確な実態把握は

会派に所属しない議員  
西條 利洋



**問（議員）** ヤングケアラーを早期に発見し、子どもの健全な学習環境を確保するためには、正確な実態把握が必要であると考えがどうか。また、現場教員が児童・生徒の様子から正確に実態を把握するには限界もあることから、全小・中学校を対象にしたアンケート調査を行うべきだと考えるがどうか。

**答（市側）** ヤングケアラーを早期に発見し、適切な支援を行うためには児童・生徒の実態把握が必要だと考える。しかしながら、アンケート調査の実施では、各家庭の置かれている状況が様々であることから、正確に実態を把握することは困難であると考え。今後も学校で様々な手法で得た情報と併せて、子どもの様子を見守り、何らかの兆候がある時は、直接話を聞くことで正確な実態把握を行い、子どもに寄り添いながら、家庭や福祉機関とも連携し適切な支援を行っていきたい。

その他の一般質問 子育て支援について/路上喫煙問題について

## 地域の食文化と食育への取り組みは

平成自民クラブ  
中小路 貴司



**問（議員）** 食の多様化や家庭環境の変化などを背景に、地域の食文化を伝えることは困難になりつつある。地域の食文化を継承していくためには、伝統的な郷土料理や食文化を支えてきた地域の食材の特徴を理解し、伝えていくことが大切だと考える。本市では学べる食育広場として「市制施行50周年記念ながおきょうの料理 レシピコンテスト」が開催されると聞くが、どのような内容で実施するのか。

**答（市側）** 長岡京市食育推進計画の目標項目にある地域の食育推進と食文化の伝承を図るためのイベントとして計画したものである。レシピのテーマはナスを使った料理、親子で作る料理とし、参加者の投票により人気の高いレシピの表彰を行う。本市の特産品であるナスへの関心を高めることや、親子で作る料理を通して、世代間の食文化の継承やコミュニケーションづくりを図ることを目的としている。

その他の一般質問 学校教育に関して

## 「チーム学校」実現への取り組みは

平成西山クラブ  
白石 多津子



**問（議員）** 教員や外部人材が連携して学習指導の充実、いじめや貧困などの課題解決に向けて対応する「チーム学校」の在り方は、教職員の負担を軽減し、質の高い教育を目指すために大切であると考えます。この「チーム学校」の実現に対して、市はどのように捉え、取り組んでいるのか。

**答（市側）** 「チーム学校」の実現に向けては、多様な専門人材などと連携し、チームとして複雑多様化する課題に対応することや、学校と地域がパートナーとして相互に連携・協働することが重要と考える。本市では、令和4年4月から、市内の全小・中学校に学校運営協議会を設置し、学校や子どもが抱える課題や実現したい目標を共有している。学校運営に地域の方が参画することで、共通の目標の実現に向け取り組む仕組みを活用しながら、チームとしての学校づくりを進めていきたい。

その他の一般質問 新庁舎に関して/ゼロカーボンシティの実現について

## 西代里山公園の駐車スペース確保を

平成西山クラブ  
上村 真造



**問（議員）** 休日の西代里山公園は、多くの人でにぎわっている。そのため公園入り口道路の左右両側に駐車車両があり、公園内にはNEXCO西代管理ヤードがあるにもかかわらず、何か起こっても救急車両も入ることができない状況である。少し離れた場所であっても駐車場を確保することや、駐車場の有料化も併せて検討が必要だと考えるがどうか。

**答（市側）** 駐車スペースの確保の必要性は認識しているが、適地が見つかっておらず、現状、救急車の進入路の確保は、駐車禁止の路面標示や管理人の定期的な見回りによる対応となっている。駐車スペースの課題については、臨時駐車場の設置や混雑緩和に一定の効果が見込める駐車場料金の有料化を含め、地元自治会などの各種団体や関係機関などで構成する西代里山公園運営検討会の意見も聞きながら検討していきたい。

その他の一般質問 学校教育に関して

## 産後2週間・1か月健診の公費助成を

輝 (かがやき)  
富田 達也

産後2週間・1か月健診



来年度から実施へ!!

**問（議員）** 本市では、産後1か月健診はほとんどの医療機関で実施されているが、産後2週間健診・1か月健診を両方実施する医療機関は1か所だけである。産後2週間健診を実施していない医療機関でも、産後1か月健診を実施しているため、健診の実施は可能であると考えます。少子化対策における子育ての負担軽減を図るため、産後2週間健診及び1か月健診の公費助成を実施すべきと考えますがどうか。

**答（市側）** 産後2週間・1か月健診の助成制度を実施するためには、医療機関が母体の身体的な回復状態の確認や産後うつ等の精神状態をチェックすること、支援が必要な妊婦について市へ連絡すること、産後ケアを実施することなど、医療機関側の体制を整うことが前提である。現在、課題であった医療機関の体制の確保に目途がついてきたため、次年度からの公費助成導入に向けて準備を進めていきたい。

## 補聴器の公的補助制度導入を

日本共産党  
二階堂 恵子



**問（議員）** 加齢性難聴の方の補聴器購入の公的補助制度が全国的に進んでおり、公的助成制度を実施している自治体は50となっている。公的補助制度導入の広がりには、補聴器が高齢者の生活にとって必要なものとなっている背景があると考える。全国で補聴器の公的補助制度が進んでいる中、本市においても公的補助制度を導入すべきと考えますがどうか。

**答（市側）** 加齢性難聴者への補聴器購入の公的補助制度実施自治体の増加は、難聴と認知症のリスクの因果関係や、適切な補聴器の導入と認知症の発症軽減の可能性の研究などが進んだためと考える。ただ補聴器普及には、費用面だけでなく、補聴器に対する情報や知識が十分でないという課題がある。公的補助制度の導入は、関連情報や知識の浸透状況、実態把握の調査結果、国や他市の状況を見ながら、施策の優先順位などを引き続き見極めていきたい。

その他の一般質問 投票権の保障について/公共交通の更なる検討について

## 企業版ふるさと納税の活用を

公明党  
石井 啓子

企業版  
ふるさと  
納税と

**問（議員）** 企業版ふるさと納税制度の令和3年度の実績は、金額・件数ともに前年度の2倍という伸びであり、確実に裾野が広がっている。昨年に制度の導入を提案した際には、魅力的な制度であるとの前向きな答弁があったが、全国的に制度が浸透する中で、制度導入に向けたその後の検討状況はどうか。

**答（市側）** 本市でも、制度導入の可能性がある事業の検討や関心のある企業などの情報把握に努め、できるだけ早期の制度導入を検討してきた。その中で本市への企業版ふるさと納税支援の打診があったことを受け、制度を活用するために必要となる地域再生計画を策定し、内閣府へ申請を行ったところである。順調にいけば11月には認定されるものと考えており、今後も寄附いただく企業の意向に沿うよう對話を重ね、広く地方創生に資する事業支援を受け入れていきたい。

その他の一般質問 避難所開設に関して/新庁舎における窓口業務に関して

## 医療と介護のネットワーク体制の取り組みは

日本共産党  
住田 初恵



**問（議員）** 他市では、医療機関や訪問介護・訪問看護事業所、保健所などが連携し、新型コロナウイルスににかかる医療や介護現場での課題を共有し、地域の患者対応や支援強化につなげるネットワーク体制があると聞く。本市でも訪問介護事業所間では情報共有し協力体制が組まれていると聞かすが、さらにネットワークを広げ、現場の課題を共有する体制が必要と考えるがどうか。

**答（市側）** 乙訓保健所には、乙訓地域新型コロナウイルス感染症在宅療養患者支援チームが設置されており、患者ごとに医療機関や居宅介護支援事業所、訪問看護・訪問介護などの機関で構成するチームが編成され、患者の支援を行っている。訪問介護サービス事業所連絡会を通して、本市に所在する訪問介護サービス事業所と保健所の支援チームが円滑に連携できるように取り組んでいきたい。

その他の一般質問 新型コロナウイルス感染症第7波への対応について/保育園での感染対策について/エッセンシャルワーカーに慰労金を/新竹寿苑について

## ～この言葉ってどういう意味?～ 語句解説コーナー



### ヤングケアラー

法令上の定義はありませんが、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている子どものことを指します。家族の介護に追われることで勉強時間など自分の時間が十分に取れないなどの問題があります。

### 企業版ふるさと納税

制度名を「地方創生応援税制」といい、市などの地方公共団体が行う地方創生の取り組みに対して企業が寄附をした場合、法人関係税を税額控除する仕組みのことです。税の軽減のほか、SDGsの達成による社会貢献などのメリットがあります。

また、企業が地方自治体の地方創生プロジェクト実施を支援するための人材を派遣する人材派遣型もあります。

## 小・中学校での脱衣を伴う健康診断は

会派に所属しない議員  
川口 良江



**問（議員）** 文部科学省から児童・生徒等の脱衣を伴う健康診断時における留意点が示され、健診を実施するに当たっては、児童・生徒等のプライバシーの保護にも配慮することとされた。児童・生徒、保護者等の声や人権保護の観点から、脱衣を伴う健診の是非について検討が必要であると考えますが、本市での小・中学校での脱衣を伴う健診の実施はどうか。

**答（市側）** 今年度の脱衣を伴う健診については、本市の全小・中学校で、男女とも上半身脱衣で実施した。健診の目的は全身の異常を観察することであり、着衣のままでは、見落としが増加するとの見解があり、医学的・専門的な見解を踏まえ、乙訓医師会との申し合わせで、正確な健診のため上半身脱衣で行うこと、プライバシー保護のため、会場設営や方法に配慮することとしている。配慮が必要な児童・生徒には、養護教諭が丁寧に対応している。

その他の一般質問 災害時の避難所について